



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 23rd June 2017



IDFプレスリリース

2017年6月23日、ブリュッセル発

酪農乳業の生物学的多様性ガイドの発行

国際酪農連盟IDFは本日、酪農乳業の生物学的多様性ガイドを発行した。この文書は測定可能な指標を用いて生物学的多様性の管理を改善する支援を目的とする。

世界の人口が増え、それに対応する食糧需要が膨らむ中、より多くの乳製品を増産させることが期待される。しかしながら、生乳生産を含むあらゆる食糧生産は、生物学的多様性に影響を与える可能性がある。同様に、生物学的多様性の欠如は、土壌中の細菌から花粉を受精させる蜂類まで、食糧生産効果に影響を与える可能性がある。野生生物とその生育環境を保護することが農業の長期的な持続可能性に重要である所以である。

酪農乳業界は、このような課題を認識し原生林や野生種に及ぼす影響を緩和する責務を負っている。これらのガイドラインは生物学的多様性に与える乳生産を評価する各段階を概説する。

IDF環境常設委員会の（現）委員長 Ying Wang 氏は、「この実用書によりIDF環境常設委員会の活動が一步前進しました。生物学的多様性ガイドは、生物学的多様性と生態学的なサービスを毀損することなく、酪農乳業界の持続可能な発展と地域内の生態学的な限度内で実施される規範の改善に貢献します。」と説明した。

この新刊書によって、IDFは生物学的多様性を保護するために酪農乳業界とその他の食糧を生産する業界の責務を繰り返し訴える。健全な生態系は、変化に直面する農業生産の復元力を強化する上で欠かせない。

[酪農乳業界の生物学的多様性ガイド、IDFブリテン488/2017号](#)はIDFホームページから無料でダウンロードできる。

この文書は環境に関連するIDF活動と酪農乳業のウォーターフットプリント手法およびカーブフットプリント手法に関する発行物を補完する。

翻訳：JIDF 事務局

编者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。